

2 月度土曜例会(2015/2/14)

この日のスピーカーはお馴染みの米国・ミズーリ出身の **Lila Verbeten** さん。テーマは「**Celebration in the USA**」(米国の祝日)。世界中から異なる文化・習慣を持って集まってきた米国民が、様々な祝日の行事を通じて、ひとつにつながることに意味があり、「どの祝日も楽しいものばかり」とライラさん。一家の米国での過ごし方の例をまじえて語ってくれました。ライラさんは3年半、日本に在住し、夫の帕特 (Pat) さんとともに、キリスト教会の活動をしながら、日本の祝祭日や文化も勉強中で、IIN 会員の協力にも感謝を表していました。以下がライラさんの講演の要旨です。



祝日を国全体、宗教的、楽しみのため (Just for fun) の 3 つのカテゴリーに分けて話します。

連邦政府が定めた合衆国の祝日には、次の 10 日がある。

- **New Year's Day(January 1)** 新年
- **Birthday of Martin Luther King, Jr (Third Monday in January)**
M. L キング牧師誕生日
- **Washington's Birthday(Third Monday in February)**
ワシントン大統領誕生日
- **Memorial Day(Last Monday in May)** メモリアル・デイ
- **Independence Day(July 4)** 独立記念日
- **Labor Day(First Monday in September)** レーバー・デイ
- **Columbus Day(Second Monday in October)** コロンブス・デイ
- **Veterans Day(November 11)** 退役軍人の日
- **Thanksgiving Day(Fourth Thursday in November)** 感謝祭
- **Christmas Day(December 25)** クリスマス



New Year's Day は、とにかく、アメリカンフットボール一色。Rose bowl など大学の試合がたくさんあって、子供たちはテレビで楽しむが、多くの国民は大みそかの夜のパーティでぐったりで、休息の日。私の場合は、クリスマスツリーやパーティの

後片付けに追われた。食事を作るのに疲れるので、夫の Pat と KFC(ケンタッキー・フライド・チキン)を大量に買いこんでいた。

Birthday of Martin Luther King, Jr は、黒人の人権の向上などを非暴力で訴えたキング牧師を讃えた祝日。彼がワシントンで行った “I have a dream” は非常に有名。

Washington's Birthday は、米国初代大統領のジョージ・ワシントンを記念している。**Memorial Day** は、国のために戦争で亡くなった男女を追悼する日。彼らはアーリントン墓地に葬られている。夏休みの始まりを告げる祝日で、ピクニックやバーベキューを楽しむ人が多い。

Independence Day 7月4日の独立記念日は、国の誕生を祝ってパレードや花火などで盛大に祝う。パレードでは米国国旗に敬意を表して高く掲げ、他の旗は下を向けます。我が家の孫たちも含め、子供たちは赤、青、白の服を着て自転車、ワゴン、玩具まで飾り立てて近所を練り歩くなどして楽しく遊びます。

Labor Day 国の発展、繁栄等に貢献してきた働く人たちに感謝を表します。キャンプ、バーベキューなどを楽しむ。夏休みの終わりを告げる祭りで、この日を境に皆が職場や学校に戻る。

Columbus Day はコロンブスによるアメリカ大陸到達が合衆国誕生につながったことから、その功績を讃える日。この時期、隣のミズーリ州では日本のモミジのように緑が赤く色づき非常に美しく、家族でよくハイキングを楽しんだ。**Veterans Day** は復員軍人の日。第一次大戦終了とともにスタートしたが、

現在は合衆国が参戦したすべての戦争の退役軍人の日になっている。戦いで亡くなった男女を偲ぶ日は **Memorial Day**。

宗教的祝日の分類に入るのが **Thanksgiving Day, Christmas, Easter** (復活祭) の3つで、このうち **Easter** 以外は国の祝日でもある。

Thanksgiving Day は神の祝福に感謝する日。1620年、英国からメイフラワー号で渡米した102人の清教徒

独立記念日のパレード到着を待つパットさんの親族



そろって感謝祭での食事を楽しむライラさんの家族

たちは、食料がなく多くの犠牲者を出したが、最初の収穫を得て 1 年を乗り切り神に感謝。信仰の自由を求めて苦難を重ねてきた苦勞を思い 1863 年、リンカーン大統領が国の祝祭日に定めた。現在、米国人の多くはこの日、祝宴を開く。ライラさん宅でも祈りに始まり、大きな鍋で七面鳥の料理を楽しんでいた。スライドを見ながらライラさんは「なつかしい！」。

Christmas 救世主、キリストの生誕を祝う日。パーティーやプレゼントやらの準備で 6 週間ほど前から準備にかかる。多くの家族は、子供たちが演じる野外劇のリハーサルなどに忙しい。日本の年賀状のようにクリスマスカードの交換をするが、最近はインターネットによる挨拶が増えるなどで、この習慣は細る傾向に。また、あちこちの家がきれいな明かりや光で飾られ、ツリーの根元にプレゼントがたくさん、配置される。サンタクロースがたくさんいて、家庭を訪問。子供たちには大きな喜びになっている。家族や友人へのプレゼントはすてきな楽しみで私も自転車前と後ろに一杯積んで、郵便局へ行きます。

Easter

イエス・キリストの復活を祝う祭りで、クリスチャンの暦では最も重要な祭日。この日は教会でも特別の行事があり、着飾って教会に行き、感謝や祈りを捧げる。伝統的なイースターエッグ探しなどを楽しむ。我が家では、バスケットの中にお菓子を入れて隠し、子供たちが探し回る。子供が成長すると、お菓子探しに興味を失うので、時々、1 ドル、5 ドル…と上げて、1 個には 50 ドルを入れたことも。

最後に、楽しさの祝日。

St.Patrick's Day、**Mother's Day**、**Father's Day**、**Halloween**、**Valentines Day** など。聖パトリックデーはアイルランドの守護聖人、パトリックを記念する日。アイリッシュ系のライラさんには、より親しみのもてる祝日。緑色の服を着て、コンビーフなどを食べる。

母の日にはライラさん宅ではパットさんが料理を作る。夫は料理が上手で味もおいしいとのこと。

2 月 14 日のこの日はバレンタインデー。そこで、家族や親しい友人に送るバレンタイン・カード作りを実践しました=**写真右**。ライラさんが用意した色紙、のり、はさみなどのキットを使い、お金をかけず心のこもったカード作りを楽しむのが狙いでした。



この後、いつもの Q&A

○イースターエッグの作り方は簡単ですか？

お湯に酢と染料を足して。ゆで卵を作るのと同じです。

○クリスマス後の生木のツリーはどのように処分しますか。

庭などで燃やしてしまいます。

○クリスマスの予算はどのくらい？

我が家は大家族なので、1~2品は私（Lila）が作り、子供たちも各自、2品くらい持ってきます。プレゼントの予算に関しては、ターキー（七面鳥）やコンビーフなどは、シーズン前にバーゲンがあったりで、大目に買い込んで冷凍庫の中にしまっておいたりで、そんなに負担になりません。

○ホワイトデーはアメリカにありますか？

日本に来てからそんな日があるのを知りました。アメリカでは **Father's Day** がこれにあたりますかね。